

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第47回部会）会議録

日時：令和6年1月11日（木）午後7時～午後8時10分
場所：東淀川区役所出張所3階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
 アクションプランの検討状況（各地域からのご報告）
 - ・東淡路・柴島地域より
 - ・下新庄地域より
 - ・西淡路地域より
- 4 その他
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 第46回「まちづくり通信」
- ・ その他

1. 開会

2. 部会長あいさつ

- ・ 年明け早々、不幸な災害や事故が起き、被害を受けた方に心からお見舞い申し上げたい。我々地域においては、これからもいっそう防災・減災の取り組みを進めていきたい。年末も、歳末の夜警が各地域で行われ、毎年恒例の「アワナリエ」や「シモナリエ」のイベント、年明けの餅つきなどが盛大に開催された。また、新大阪・淡路間を中心に国の「都市再生緊急整備地域」に指定され、柴島を含む淡路駅周辺や阪急の高架下の活用などが注目されている。我々も各地域が連携し、情報交換をしながら、国や行政とも連携しながら、各地域のアクションプランの作成など、しっかりと進めていきたい。引き続き、皆様のご協力をお願いする。

3. 議題

(1) アクションプランの検討状況（各地域からのご報告）

（事務局）

- ・ 本日で次回の2回に分けて、アクションプランの検討状況について、各地域から報告していただき、意見交換の場としたい。今日は東淡路・柴島地域、下新庄地域、西淡路地域の3地域にご報告いただく。

【東淡路・柴島地域】

（東淡路・柴島地域 部会員）

- ・ 東淡路・柴島地域では、令和5年度にほとんどの事業を再開した。コロナによる4年間で思っていた以上にみんなが高齢になっていて、再開し始めた時は、集まることがまず難しい状況だった。やる気はあるものの、何をするにも時間がかかり、パワーが必要で、うまくやっていく仕組みをどうすればよいかを考えていた。できることからぼちぼちやってきて、なんとか4年間の空白を取り戻していったように思う。
- ・ そんななか、令和6年度から市の地活協への補助金の仕組みが改正されるということで、11月中旬から

会計の説明会を行った。部会ごとに区の方に説明に来てもらい、先を見据えた形で意見交換をしている。これからもあと何回か予定している。

- ・今後、うちの地域の課題は何か、何をすべきか、各事業の見直し、予算配分の再検討など、予算について1年をかけて話し合っていく予定だ。「ワークシート」を作成し、活動の目的や、これからどうしていきたいかなどの議論を進めていきたい。
- ・地域の事業や活動は、ずっと同じ人がやっていたり、変わっていたりもするので、今回の改正は一度見直しをするいい機会になっていると思う。例えば、子育てについて、「違う人の意見も聞きたいよね」、「これとこれをくっつけるといいよね」といった話が進んでいる。アクションプランについても、やっと準備ができたところ、という段階である。

意見交換：

(部会長)

- ・区役所から説明に来てもらったのは、何回か？ テーマごとに行ったのか？
- ・区役所からの説明は、他の地域でも要望があれば来てもらえるのか？

(東淡路・柴島地域 部会員)

- ・あと2回予定していて、全部で4回。区役所も、「区と住民とでゆっくり話す機会が持ててよかった」とのことだ。地域課も企画調整担当もどちらも巻き込んでやっていきたいと思う。
- ・最初の2回はテーマごとに分かれて行ったが、あとの2回は案内して関心あるものに参加してもらいたいと考えている。

(事務局)

- ・機会があればぜひ。

(東淡路・柴島地域 部会員)

- ・10年が経過し、事業や活動を再開する、人を集める・動かすことに思った以上に時間がかかった。今回の改正は、よいきっかけになった。うちの地域でも高齢化が進み、子どもが少なくなり、地域の意見をまとめて持っておきたい。今、やっておかないと、もっと厳しくなると思っている。そのなかで、新たな担い手が見えてきたら嬉しい。

(事務局)

- ・どこの地域も高齢化は深刻な課題になっている。

【下新庄地域】

(下新庄地域 部会員)

- ・アクションプランについては、2月3日に集まって、子育てや子どもの安心について話し合い、地域全体のこれからの取り組みについて議論を拓けていきたいと考えている。
- ・下新庄地域では、コロナ以降、今年はほとんどの事業や活動が復活した。主なものをご紹介します。子ども食堂はちょうどやろうとしていた時にコロナになってしまった。毎月最終土曜日に、子ども達にカレーを100円（おかわり自由）で提供していて、毎回100人前後が参加している。5月には鯉のぼり、6月には小学校1年生向けに「シャボン玉で遊ぼう」というイベントを開催した。

7月は小学校で「サマーフェスタ」をコロナ前と同じフルのプログラムで開催した。

8月のパレードは暑すぎて外を歩けず、室内で開催した。盆踊りも2日間、学校でのミニキャンプ（火をおこし、カレーを作った。花火大会、映画など）も盛況で、たいへん賑わっていた。

10月には社協と合同での「ふれあい敬老会」があり、中学校の吹奏楽部の演奏や、金婚式の表彰、会場へ来た最高齢者の表彰などがあった。

11月はだんじりまつり、たいこまつりがあり、町内を練り歩いた。だんじりは本物の木の車輪なので、カーブや坂道が特に大変である。70代でもだんじりを曳いていて、人手不足が課題である。PTAにお願いしたが足りなかった。経路を短縮して行った。一方で、だんじりの綱を曳く子ども達が増え、とても楽しそうだった。

12月はイルミネーションにあわせてイベントを開催した。音楽の演奏や出店（フランクフルト、おにぎりなど）もあり、やってきた子ども達はとても楽しそうに喜んでいて。

2月17日には、地活協の活動として、学校で餅つきを予定している。

- ・小学6年生に、昨年やって好評だった「手話エンターテイメント」を授業の一環として開催する。5年生は、コロナ前にやっていた「書道教室」を復活し、52名の児童が篆刻に挑戦する。
- ・駅のまわりに25mの橋脚が立ちあがり、一気に工事が目に見える形で進んできた。交通量など心配ごともあるが、橋脚の位置などイメージが沸きやすくなったので、2月3日に話しあえればと思っている。

意見交換：

（事務局）

- ・すぐたくさんさんの活動について、わかりやすい報告であった。下新庄地域では、子育てや子ども達へ向けた取り組みに重点を置かれているのか。

（下新庄地域 部会員）

- ・一人暮らしの高齢者のかたを意識して、だんじりでお餅を配ったり、イベントで椅子席を準備したりしている。これからも、子どもと高齢者の安全、子どもたちのためになるもの、一人暮らしの高齢者向けの取り組みについて、会員共々考えていきたい。

（部会長）

- ・学校と地域の連携による取り組みについて、校長先生がとても喜んでおられた。

（下新庄地域 部会員）

- ・これまでとは逆に、学校の方から地域へ「何かないですか」「何かやってもらえませんか」と言われるようになった。現校長のおかげで、学校の理解や協力があってこそ、互いに活動ができていると思う。

（部会長）

- ・話は変わるが、先日、近畿大学の学生さんが、淡路地域のまちづくりについてヒアリングに来た。何に関心があるのかを聞いてみると、卒論のテーマが「高架下のまちづくり」だそうで、自転車駐輪対策のフォトコンテストのピラを見て、やってきたそうだ。柴島高校の生徒もまちづくりに関心があるようだ。取り組みを進めていけば、若い人も興味を持ってくれるようだ。

（新庄地域 部会員）

- ・フォトコンテストについて、よく知らないので教えてほしい。

(部会長)

- ・自転車対策協議会が、駐輪問題について関心を持ってもらうために開催したフォトコンテストである。マナーの啓発だけでなく、「自転車は文化だ」と推進していこうというもの。後ほどLINEで共有する。西淡路地域でも、新大阪駅東口部会を11月末に開催する。まちの様相が変わっていくような国や市、区の動きに対して、地域としてはどうしたいのかを示したい。

(事務局)

- ・よい意味で自転車を使っていこう、という前向きなメッセージ性のある写真を求めているフォトコンテスト。いい写真については、周辺の店舗などに貼られたりもする。

【西淡路地域】

(西淡路地域 部会長)

- ・新大阪駅東口まちづくりビジョンについて、年末から新大阪駅東口部会を開催しており、3月の本協議会で案を確定できるようにしたい。
- ・新大阪駅周辺については、国の都市再生として「世界と日本／関西の玄関口」といった大きなことが書かれていますが、実際に生活者の目線でまちづくりを進めていけるよう、地域の皆さんと意見交換をしながら最終調整を進めていきたい。新大阪が大きく変わり、たくさんの人が来てくれるのはよいことだが、今の暮らしが脅かされないようにしてほしい、といった具体的な意見もある。
- ・「もと西淡路小学校跡地検討会議」については、1月下旬から2月にかけて説明会がある。当初は跡地を売却する方針だったが、現在は売却せず定期借地などで活用する方向になった。校舎も利活用できないか検討していたが、2割ほど耐震性が不十分で使えないことがわかった。体育館以外のすべての校舎をつぶすこととなり、新しく建つかもしいない。地元意見をまとめ、2～3年のうちに公募プロポーザルになる見込みだそうだ。また、民間事業者へのサウンディング調査では、事業期間が短いと投資をしても採算が合わないということで、30～50年の事業にしてほしいという要望もあったようだ。もと西淡路小学校は、現在も地元の方が使っているの、次回はもう少し進捗を報告できるかと思う。

【菅原地域】

(事務局)

- ・菅原地域については、本日報告はない。現在、協議会の取り組みについて、区が町会長会に説明に行くことで調整している。菅原地域では、連合としての活動もあるが、町会ごとの活動が活発にされていると聞いている。

意見交換：

(久教授)

- ・本日の各地域からのご報告を伺っていて、感じたことが2点ある。1つめは、報告のあった東淡路・柴島地域のように、コロナ禍によって従来やれていたことができなくなったり、予算の見直しがあったりするの、本当に必要なものを吟味して考えるための棚卸しのような良い機会だと思う。1つ1つの活動をどうするか。どれかを廃止しなければならないのであれば、今後取り組んでいくべき“大きな柱”を考えた

うえで、優先順位を考え、ストーリーの中で納得してもらおう。継続するのであれば、その活動を“大きな柱”の中にどう位置付けるのか、次の何十年間についても考える。この“大きな柱”がアクションプランにも繋がると思う。

- ・2つめは、皆さんもご存じかもしれないが、阪急北千里駅の再開発について、120mの超高層マンションへの反対運動が起こった。まだ決定していないのに報道されてしまったので、吹田市は“まずは議論しましょう”と、10月頃から意見交換会や説明会を開催している。初回は大半の参加者が反対の立場だったが、2回目の最後には「一番長くまちを使う、これからの世代の意見も聞いてみたい」という意見が出た。北千里には、多くの高校や大学があり、若い人が利用している。北千里高校にはまちづくりのクラブもある。北千里高校の先生があっせんしてくれて、3回目には高校生も参加した。若い人が参加したとたん、雰囲気がガラリと変わった。私の経験では、親と子といった一世代上と下ではケンカになるが、祖母世代と孫世代であれば揉めることはあまりない。和やかに話ができ、まちにとっても面白い展開になることもある。ただ、大学でまちづくりを専攻している学生でも、自分の地元のまちづくり活動には入れない、機会がないという話をよく聞く。多くの地域がウェルカムになっていないのがもったいない。どんどん若い人に話し合いの場に入ってもらいたいと思う。若い人にも、手伝いたい、一緒にやりたいという人はいる。そのかわり、彼らは“やらされ感”を感じれば、二度と行かない。使われるのではなく、若い人たちがやりたいアイデアや企画をうまくやらせてあげる、「どんなことがしたい？」と聞いて、若い人が言った答えを「じゃあ、みんなでやってね〜。」といった工夫が必要かもしれない。

4. その他

【「くにじまスポーツ」貸付等の入札結果について】

(事務局)

- ・第45回構想部会（9月14日）で報告した件の経過についてご報告する。

水道局では、くにじまスポーツの事業用定期借地権設定契約に基づく貸付を令和5年8月31日付けで公告し、令和5年12月7日に入札を実施したが、入札不調（入札者ゼロ）となった。一方で、くにじまスポーツは地域の重要なスポーツ施設であり、休業となつては影響が大きいことから、水道局では原契約（令和6年3月まで）の契約変更（暫定的な貸付期間延長）に向けて調整を進めている。変更契約等が整った場合は、改めて水道局から報告したい、とのことだ。

【新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会について】

(事務局)

- ・新大阪・十三・淡路一体の大きなエリアを対象に、リニア/北陸新幹線の新大阪駅乗り入れを見据えた大きなまちづくりについて、国/大阪府市/民間での検討がスタートした。

参考) https://www.pref.osaka.lg.jp/daitoshimachi/shin-osaka/shin-osaka_bukai3.html

西部地域でのキーププロジェクトとしては、柴島浄水場を南西部に移設集約（ダウンサイジング）し、将来的には都市開発12haを生み出す。この開発計画を「淡路駅エリア計画 Ver.1」として早期策定するというもの。地域には大きなインパクトとなるので、協議会/構想部会へ今後このプロジェクトの動向について適宜報告していく。

【アンケートへのご協力について】

（事務局）

- ・まちづくり構想部会の振り返り、効果について、事務局から部会員の皆さんへアンケートを実施したい（メール配信）。2月を予定しているので、ご協力をお願いします。
- ・次回の部会は、3月14日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

5. 閉会

以上